

D2660

東大阪東ロータリークラブ

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report

2019-6-13

No.2610



創立：昭和40(1965)年3月4日

『職業を語り、誇りを持ってロータリーをエンジョイしよう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：水上 雅博 / 幹事：藤本 良男 / 会報資料担当：田原 さおり

今日の例会

- 本日の卓話
「ロータリークラブ在籍53年の思い出」
出口 和義 君
「さよなら昭和・平成
—思いつくま—」
大塚 俊彦 君
- 今日の歌
「それでこそロータリー」
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会后 定足数例会
次年度クラブ協議会

来週の例会予定

- 6月20日(木)
卓話
「あれから52年」
山田 隆教 君

6月は
ロータリー親睦活動月間です

先週の出席報告(6/6)

(6/6)の出席者数：31名(3)

6/6出席率：57.41%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員：65名(免除14名)

	5/16	5/23	5/30
HC出席	36(2)名	33(2)名	休会
MU出席	11(1)名	16(3)名	
修正出席率	87.04%	87.5%	

会長の時間

水上会長 (6/6分)

先週は、ドイツ・ハンブルク国際大会に参加してきました。東大阪東ロータリークラブは、9名の参加でした。本会議の会場は大きかったのですが、参加者が多く、午前・午後の2回に分けて行われました。午前の部は、溝畑さんが参加され、午後の部は、それ以外の方が行きました。大変盛大でした。

その前日、山本ガバナーのもと、地区ロータリーナイトが行われました。200人以上参加され、会場は満員でした。私は、地区関係の人達とは知り合いが少ないので、鈴木ガバナー補佐とみどりロータリークラブの井上夫妻とお会いしたぐらいでした。地区関係の方々は、“そろそろ終わる!!”といったムードが溢れており、大変楽しそうでした。ハンブルクは、朝4時過ぎには明るく、夜は10時30分ぐらいまで明るい“白夜”でありましたが、時差ボケの私は、寝てばかりというありさまでした。

また、ロータリーの企画した「エアバス工場見学」にも参加してきました。ハンブルクから、エルベ川を船で移動して、「エアバス」に到着。広い工場をバスにて移動して説明を受けました。現在、6000機程の注文をもらっているが、年間80機しか納入出来ないの、このままだと100年は掛かってしまう。ボーイングより少し安いからだ。などと説明しておりました。“まあ!!何とスケールの大きいこと!!” セキュリティーも大変厳しかったです。

この国際大会に出発する前に、東大阪東ロータリーのメンバーでしたが、御病気になられて退会を余儀なくされた辻正さんが亡くなりました。ロータリーの方々には、事務局からの知らせはご遠慮願いたいとのことでしたが、葬儀に行ってまいりました。知り合いの方が亡くなるというのは、淋しいものです。

私が東大阪東ロータリーの会長になって、あと残すところ1ヶ月となってまいりました。

「会長!!会長!!」と言われ、なかなか快調でございます。

あと少しと思うと、なんとなく寂しい思いですが、最期までよろしくお願い致します。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

藤本幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、定足数例会・次年度クラブ協議会 於：瑞徳の間B
- 【2】 6/15（土）第6回寺子屋子ども食堂
- 【3】 6/15（土）青少年交換第8回派遣候補生最終オリエンテーション・来日学生スピーチ発表会及び来日学生・派遣学生歓送会（田原靖夫様、田原会員、田原陽二郎さん出席）
- 【4】 6/16（日）生駒学園招待行事
- 【5】 6/18（火）たまがわ高等支援学校職場見学 於：広栄（株）・ミエ産業（株）
- 【6】 6/21（金）IM第4組新旧合同会長・幹事会（齊藤副会長、戸田副幹事、2019-20 河村副会長、藤本幹事出席）

＜連絡事項＞

- 【1】 本日例会後、定足数例会を開催致しますので、そのままお残り下さい。定足数例会終了後、引き続き瑞徳の間Bにて次年度クラブ協議会を開催致しますので、多数ご出席よろしくお願い致します。
- 【2】 7/4（木）午後6時30分よりオ・セイリュウに於きまして新旧合同会長・幹事歓送迎会を開催致します。多数のご出席よろしくお願い致します。

2019年ロータリー国際大会(ドイツ・ハンブルグ)

参加報告

国際奉仕委員長 溝畑正信

2019年5月29日～6月5日、第110回ロータリー国際大会(ドイツ・ハンブルグ)に、当クラブから水上会長夫妻、藤本幹事夫妻、吉崎、大橋、前田、井戸田、溝畑、大阪大淀RCから吉田悦治の各氏が参加しました。吉崎さん、井戸田さんはほとんど単独に行動され、私たちは、フィンランド・ヘルシンキから、エストニア・タリン、そしてドイツ・ハンブルグへ入りました。ヘルシンキでは、ヘルシンキ大聖堂を見学し、森と湖のヌークシオ国立公園でのハイキングを楽しみました。そして、バルト海をフェリーでエストニアのタリンへ渡り、バルト海沿岸の貿易で栄えた中世北ヨーロッパの街の姿が残る世界遺産の旧市街を散策しました。北欧の夏は、夜10時半くらいに日が沈み、朝4時半ころに日が昇る白夜です。

6月1日にハンブルク空港にて国際大会参加登録者バッチをもらい、ハンブルク港から船でエアバス工場見学に行きました。港には、エンド・ポリオの旗を掲げた帆船が停泊していました。ホスト主催のツアー参加で、外国の人たちと一緒に。夜は、2660地区ナイトに

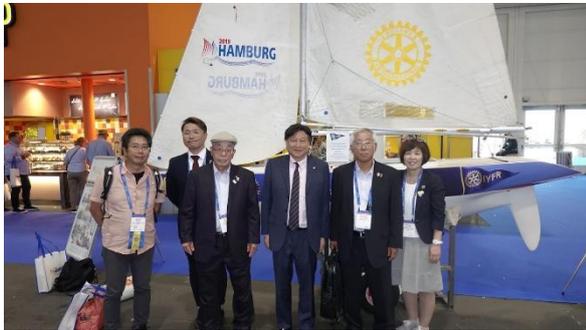
参加し、地区内ロータリアンと交流しました。当地区から220名の出席者があり、当クラブ参加9名はなかなか立派なものでした。

6月2日に開会式があり、世界中からのロータリアンが「インスピレーションになろう」の雰囲気を楽しみました。また、友愛の家を楽しみました。

3日はハンザ同盟都市リューベックを訪れました。ここはバルト海に注ぐトラベ川の中州に開がる街で、12～16世紀にかけてハンザ同盟の盟主として大きな繁栄を誇った街で、世界遺産に登録されています。

4日に皆様は、お土産をいっぱい提げて帰国の途に。様々な出会いを胸に、5日に帰阪しました。





俳句同好会 輪の会便り

令和元年を迎えた俳句同好会（ER輪の会）あれこれ
2019年6月 島 侑才
令和元年を迎え、平成に育った我が句会も、年輪を重ねました、平成3年、加納さん（加納如雷、書道家）がクラブ会長をされていたころ、能勢のライラに参加していた加納、田中（邦夫）、溝畑、島、の面々が語り合い、句会がスタートしました。爾来、30年近くよく続きました。

最近では新しいメンバーも増え、びっくりするような、秀句を詠う人も現れ、前途洋々親睦の実を上げています、というより句会のお蔭で、ロータリーが好きになった等、同好会の有意義な一面を見せてくれています。堅苦しい形式的な句会ではなく、集まった順にビール缶を空けるといった具合ですが、作句力も向上、ロータリーの友（俳壇欄）においても選ばれるなど、それなりのクラブの広報に貢献できているのでは？ などと考えています。

ER輪の会「人生を豊かにする同好会入会歓迎」

2019年5月 ER輪の会俳句 自薦句

- | | |
|-----|------------------|
| 正信 | 五箇山に風の渡りて更衣 |
| 精一 | 衣擦れに過ぎし日思い衣替え |
| 安德 | 天井の染みは恐竜走り梅雨 |
| 靖明 | ビール呑み天井まわる裸ん坊 |
| 侑才 | 濡れ草の艶めく朝や夏はじめ |
| さおり | ツツジみて幼き想ひで蜜の味 |
| 洋子 | かはたれに灰としづみてすみれぐさ |
| 春正 | 備中の古刹に至る麦の秋 |
| 尊春 | 幼な子と見上げる藤の花天井 |

「国際大会の楽しみ方」

井戸田 精一

国際大会参加登録し、実際に出発する1か月前になって、ロータリー事務局が大会中の様々なイベントを企画していることに気づいた。

自転車ツーリングは、Hamburg-Bergedorf からCityHoll まで約18kmを世界中のロータリアンが集まって輪行するイベントである。なんとか自転車を見つけて、電車に乗ると早速、ロータリアンと目が合い、スタート地点にたどり着いた。そこには、100名ぐらいのロータリアンが、赤いTシャツ「END POLIO NOW」を着ていた。

ツーリングルートは、幹線道路を避け、田舎道を駆け抜けるのが最高でした。小学生から高齢の方々まで、家族や高齢の親子での参加に驚かされた。そして、地元ドイツの地方からの参加者もあり、海外からの参加者への気遣いが感じられるツーリングでした。

私の自転車は、ツーリング前日にハンブルク、レーパーバーンのレンタサイクルで調達した。自転車でホテルまで帰る途中には、ハンブルグ国際大会の場所やハンブルグ港（ロータリー帆船）、エルプフィルハーモニーなど、観光名所を回ることもできた。

そして、100名の赤いTシャツを着たツーリンググループが市内に入ると、町を歩く人の注目を浴び、さらに達成感が沸き、市庁舎前の広場では、QUEENのWEARE THE CHAMPIONが流れ、イベントは頂点となった。

Freedom seat と記した白いTシャツを着たインドからの参加者は、ロータリーからの援助に感謝し、衣食住だけでなく、自由を訴える姿にも学ぶことがあった。下絵は、市庁舎前広場の様子です。

